



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 4772 URL http://www.streammedia.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 官鎔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門長 (氏名) 山田 政彦 TEL 03-6809-6118  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,529	—	△233	—	△233	—	△216	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △218百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△1.88	—
2020年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2020年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,286	5,996	60.3
2020年12月期	8,997	6,049	63.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,596百万円 2020年12月期 5,720百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,861	60.7	△322	—	△307	—	△309	—	△2.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	115,653,831株	2020年12月期	115,213,831株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	9,563株	2020年12月期	9,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	115,448,712株	2020年12月期 1 Q	16,511,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさは残るものの、本年2月の緊急事態宣言解除や感染の沈静化、ワクチン接種の開始などにより一時的に景気回復への期待感が高まりましたが、変異株ウイルスによる感染者数の再拡大により、再び収束の道筋が見えない状況となりました。当社グループにおきましては、当初の予想を超えて新型コロナウイルス感染症の流行が長期化している影響からイベント・コンサート事業など当社の主要事業の正常化にも大幅な遅れが生じており、依然として厳しい経営状況が続いておりますが、動画配信サービスによるコンテンツ消費の増加やオンラインコンサート市場の急成長といったwithコロナによる新たなパラダイム・シフトから商機を見出し、当社グループにおける新ビジネスの創出に向けた取り組みを開始いたしました。

このような経営環境の中、当社グループの第1四半期連結累計期間におきましては、ライツ&メディア事業はコンテンツの著作権販売の拡大等により安定的な事業運営を行いました。一方、エンターテインメント事業は主力事業であるオフラインコンサートが中止となる等事業の正常化が遅れておりますが、本年1月からニューアルバムのリリースによる音楽事業の再開やオンラインイベントの企画等、厳しい経営環境を克服するための施策を続けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,529百万円、営業損失は233百万円、経常損失は233百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は216百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (ライツ&amp;メディア事業)

放送事業では本年3月に閉局した『Kchan!韓流TV』、本年5月に閉局予定の『DATV』のリソースを『KNTV』に集中する等収益構造の改善に向けた基盤作りに注力してまいりました。『KNTV』では2020年SBS演技大賞にて最多9冠を受賞し、韓国でシンドロームを巻き起こした『ペントハウス(原題)』、人気俳優クォン・サンウ主演の話題ドラマ『飛べ小川の竜(原題)』等、人気ドラマを多数放送いたしました。また、本年3月にはエスエム・エンターテインメント・グループ所属の人気アーティストSUPER JUNIOR特集を12時間連続放送する等、豊富なK-popコンテンツを編成いたしました。

著作権事業では大型タイトルのサブライセンス販売契約の締結や地上波、ローカル局、BSチャンネルへのテレビ放映権の販売等、厳しい経営環境の中でも好調に推移いたしました。

また、オンライン配信事業では、全世界120カ国、約11万人が視聴したEXOメンバーBAEKHYUNのオンラインコンサートを開催。日本で発売予定の新曲を多数披露し、国内のファンから特に好評を得ました。

この結果、売上高は1,048百万円、セグメント利益は31百万円となりました。

## (エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業は、第1四半期連結累計期間でのオフラインコンサートは残念ながら中止となりましたが、ニューアルバムのリリース等により音楽事業を再開し、アーティストのテレビ番組出演、オンラインイベントの企画等、今後の実績回復に向けた基盤作りを行いました。

本年1月にはEXOメンバーBAEKHYUNが日本でファーストミニアルバムを発売し、iTunesにおいて21カ国で1位を記録。本年2月に発売したNCT127ミニアルバムはオリコン月間ランキング1位を記録する等、音楽事業は好調に推移いたしました。また、オンライン開催によるSUPER JUNIORの日本でのファンミーティング等、今後開催予定の非対面式でのイベント企画を積極的に推進してまいりました。

このように第1四半期連結累計期間では今後の当事業の環境を整えるための準備に集中したことから、売上高は480百万円、セグメント損失は141百万円となりました。

## (その他事業)

その他事業では、売上高は0百万円、セグメント損失は7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。流動資産は9,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が305百万円増加、売掛金が421百万円増加、またコンテンツ事業権が332百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は185百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は3,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。流動負債は3,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円増加いたしました。その主な要因は、前受金が303百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は5,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。その主な要因は、資本金が46百万円増加、資本剰余金が46百万円増加及び新株予約権が72百万円増加、また親会社株主に帰属する四半期純損失216百万円により減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難でありますことから、2021年2月15日に発表した予想値を据え置きます。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,485,149	3,790,229
売掛金	2,109,469	2,530,501
商品	9,206	9,105
番組勘定	573,908	597,048
コンテンツ事業権	1,824,054	1,491,077
前渡金	328,512	278,061
その他	479,781	414,122
貸倒引当金	△8,244	△9,334
流動資産合計	8,801,838	9,100,811
固定資産		
有形固定資産	33,741	30,989
無形固定資産	55,258	50,922
投資その他の資産		
その他	209,331	206,324
貸倒引当金	△102,989	△102,970
投資その他の資産合計	106,342	103,353
固定資産合計	195,342	185,265
資産合計	8,997,180	9,286,076
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,474,388	2,482,239
前受金	228,253	532,164
その他	229,215	260,026
流動負債合計	2,931,857	3,274,430
固定負債	16,129	14,677
負債合計	2,947,986	3,289,107
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,969,408	6,015,837
資本剰余金	3,366,434	3,412,863
利益剰余金	△3,582,394	△3,799,000
自己株式	△33,064	△33,064
株主資本合計	5,720,385	5,596,636
新株予約権	248,566	321,507
非支配株主持分	80,242	78,825
純資産合計	6,049,193	5,996,969
負債純資産合計	8,997,180	9,286,076

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,529,596
売上原価	1,328,905
売上総利益	200,691
販売費及び一般管理費	434,059
営業損失(△)	△233,368
営業外収益	
受取利息	599
為替差益	972
業務受託料	1,200
受取家賃	1,320
その他	103
営業外収益合計	4,195
営業外費用	
支払利息	104
株式交付費	4,206
営業外費用合計	4,311
経常損失(△)	△233,484
特別利益	
子会社清算益	15,189
特別利益合計	15,189
税金等調整前四半期純損失(△)	△218,294
法人税、住民税及び事業税	1,105
法人税等調整額	△1,375
法人税等合計	△270
四半期純損失(△)	△218,023
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,417
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△216,606

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△218,023
四半期包括利益	△218,023
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△216,606
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,417

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライツ&メディア事業	エンターテインメント事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,048,122	480,883	1,529,005	590	1,529,596
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,500	—	2,500	—	2,500
計	1,050,622	480,883	1,531,505	590	1,532,096
セグメント利益又は損失(△)	31,706	△141,628	△109,922	△7,562	△117,485

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カラオケのアプリ事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△109,922
「その他」の区分の利益	△7,562
全社費用(注)	△115,882
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△233,368

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。